

平成 31年 07月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成31年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

かごしまの環境共生住宅

グループの名称

かごしま家づくりの会

直近採択グループ番号

07-0235-0781

(グループ代表者)

代表者名

竹下 浩二

代表者印

代表者所属先

株式会社もみの木ハウスかごしま

代表者所在地

鹿児島県始良市加治木町反土1442-8

代表者電話番号

0995-62-1064

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社中澤

事務局担当者名

福山 浩二

印

事務局郵便番号

890-0033

事務局所在地

鹿児島県鹿児島市西別府町2995-5

事務局電話番号

099-282-4155

事務局FAX

099-282-4166

事務局担当者E-mail

kagoshima-ie@nkzwgrp.com

グループ基本情報・事務局体制・グループ構成

グループ名称	かごしま家づくりの会			
H30採択グループ番号	07	—	0235	— 0781

グループの基本情報

1. 地域型住宅の名称(必須)	かごしまの環境共生住宅		
2. グループの名称(必須)	かごしま家づくりの会		
3. 結成年(必須)	2012	年	
4. グループHPの有無(必須)	無		
5. グループHPのURL(有の場合必須)			
6. H30採択グループ番号(必須)	07	—	0235 — 0781
7. グループの特徴	<p>【かごしま家づくりの会】は、地域に根ざした施工事業者を中心とした、安心かつ優良な住まいづくりを行うグループで、2012年に結成致しました。鹿児島県で基本方針が提示されている【かごしま環境共生住宅15のテーマと38の対策】を地域特性と定め、行政の政策とベクトルを合せた家づくりを行います。また、鹿児島県(危機管理防災課)により募集を行っている「災害時支援事業者」として災害発生時には、行政からの要請に応じて支援物資の供給を行い、地域への貢献を行います。</p>		
8. 代表者氏名(必須)	竹下 浩二		
9. 代表者の所屬先(必須)	株式会社もみの木ハウスかごしま		
10. 代表者所在地(必須)	鹿児島県姶良市加治木町反土1442-8		
11. 代表者電話番号(必須)	0995-62-1064		
12. 事務局事業者名(必須)	株式会社中澤		
13. 事務局担当者名(必須)	福山 浩二		
14. 事務局郵便番号(必須)	890-0033		
15. 事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市西別府町2995-5		
16. 事務局電話番号(必須)	099-282-4155	17. 事務局FAX番号(必須)	099-282-4166
18. 事務局担当者E-mail(必須)	kagoshima-ie@nkwzgrp.com		

グループの事務局体制

19. 事務局業務の外部委託の有無	無	20. 委託先業者名	
21. 専任担当者の配置の有無	有	22. 委託先担当者名	福山 浩二
23. 担当者連絡先(携帯電話)	080-9057-8207		
24-1. 事業者の認定申請サポート体制の有無	有	25-1. サポートを行う認定申請名 長期優良住宅認定	
24-2. 事業者の認定申請サポート体制の有無	有	25-2. サポートを行う認定申請名 BELS認定	
24-3. 事業者の認定申請サポート体制の有無	有	25-3. サポートを行う認定申請名 低炭素建築物認定	
26. グループ内情報共有手段の有無	有		
27. 情報共有の手段	定期的な事務局担当者の事業者訪問及びメール送信にて行っています。		

グループの構成

構成員	構成員数	構成員に含まない理由
I. 原木供給	5	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通 (木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	3	
V. 設計	8	
VI. 施工	11	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	2	

使用する地域材・要望戸数・申請実績

グループ名称	#VALUE!				
H30採択グループ番号	07	—	0235	—	0781

使用する地域材

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称		地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下の1、2、3、4の番号を番号記入欄に表記。	番号	国内・国外
	<input checked="" type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		国産材	1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度 (FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(H18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品 (合法伐採木材等証明)	3
<input type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		外材	3		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		国産材	2		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	SGEC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	FIPC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		国産材	4		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		外材	4		国外

今年度の希望戸数

B. 2019年度における補助 対象の木造住宅の申請要望戸数 (必須) (地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望 戸数は内数を記載)	タイプ		経験/未経験	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	要望戸数	内、地域材加算	内、三世帯加算	
	長寿命型 長期優良住宅	認定低炭素住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	20戸	20戸	20戸	0戸	0戸
10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)				12戸	12戸	12戸	0戸	0戸	
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数			今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	5戸	5戸	5戸	0戸	0戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	3戸	3戸	3戸	0戸	0戸	
高度省エネ型 性能向上計画認定住宅		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	5戸	5戸	5戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	2戸	2戸	2戸	0戸	0戸
			未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	5戸	5戸	5戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	3戸	3戸	3戸	0戸	0戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸
			未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸
優良建築物の申請棟数			交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			0棟	0㎡	0戸	

平成30年度の実績

C. 平成30年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)		採択額		交付申請額		完了実績(竣工予定含む)額		
	採択額	910万円	交付申請額	910万円	完了実績(竣工予定含む)額	910万円			
	高度省エネ型		採択額	210万円	交付申請額	210万円	完了実績(竣工予定含む)額	210万円	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)		採択額	280万円	交付申請額	280万円	完了実績(竣工予定含む)額	280万円	
優良建築物型		採択額	0万円	交付申請額	0万円	完了実績(竣工予定含む)額	0万円		

D. 前年実績
(達成・未達成)
に対する理由

2018年度の配分枠は全て【100%達成】する事が出来ました。100%達成出来た要因としては、施工構成員が常に「グリーン化事業」を念頭に置いて商談・提案を行い、また事務局としても随時、進捗状況等の情報提供を行った成果だと思えます。また未経験工務店の活用が、全交付申請13戸の内6戸であった事が良かった。今年度は、未経験工務店の構成員を増やしサポート体制も充実させていきたい。

